














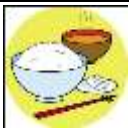





胃の全摘術を受けられる患者様へ

氏名 (@PATIENTNAME)		担当医師 ()		受持ち看護師 ()					
月日経過	手術前日	手術当日(前)	手術中	手術当日(後)	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
達成目標	落ち着いた気持ちで手術を受けましょう 発熱などの風邪症状がないようにしましょう	呼吸器症状(咳・痰)や発熱がなく手術を受けることができる 	心電図と血圧計をつけます 全身麻酔のために顔にマスクを当てますのでいつも通りに息をして下さい 硬膜外麻酔をする場合、背中から細い管を入れて手術をする所の痛みを取り除きます 鼻から管を入れます 腹部にドレーン(管)を入れます 手術後、胸・腹部のX線撮影があります	痛み出現時、薬使用にて軽減することができる ベッドサイドで排泄をする事ができる	痛み出現時、薬使用にて軽減することができる	病棟内を歩行する事ができる	院内を歩行することができる 37.5度以上の発熱なく過ごす事ができる	37.5度以上の発熱なく過ごす事ができる 水分を取ることができる 分食について知ることができる	37.5度以上の発熱なく過ごす事ができる 流動食を摂取できる 吐気なく過ごす事ができる ダンピング症状をおこさないようにしましょう 食事療法について理解することができます
治療		術後の深部静脈血栓症予防の為、手術室へ行く前に弾力ストッキングを着用します 午前6時に洗腸をします(便の出が悪い時は再度洗腸をする場合があります)		手術後、心電図、血圧計 酸素マスクをつけます	朝、酸素マスク、心電図をはずし、鼻の管を抜きます 				
処置	お腹の除毛を行いません			深部静脈血栓症予防の為、機械で下肢のマッサージをします	朝、採血があります 胸・腹部のレントゲン撮影があります 朝、採血があります 部屋の中を歩く練習をします 筋力練習を行います	病棟内を歩行できます (初めて歩く時は看護師が付き添います) ストッキングを脱ぎます	お腹の管を抜きます 点滴があります 背中・胸の痛み止めの管をぬきます 朝、採血があります 胸、腹のレントゲンがあります	点滴があります 内服薬の服用が出来ます 	点滴があります
薬剤	今まで飲んでた薬があれば、医師の指示に従って下さい 昼2時、夜9時に下剤を飲みます			点滴があります 痛みが強い時は痛み止めを使います					
検査 リハビリ		手術は、時 分頃からです				病棟内を歩行できます 筋力練習をします	院内を歩く練習をします 筋力練習をします	院内を歩く練習をします 筋力練習をします	体力をつけるため自転車漕いだりします
安静度	病院内自由です 病棟外にでられる時は看護師に声をかけて下さい 	トイレを済ませ、術衣 T字帯に着替え、弾力ストッキングを着用して頂きます 手術室へ歩いていきます 必要時、車いすやストレッチャーで移動します		ベット上安静です 	ベッドを起こすことができます 調子が良ければベッドサイドに座ったり立ったりできます (初回は看護師と一緒にします)	病棟内を歩行できます (初めて歩く時は看護師が付き添います) ストッキングを脱ぎます	リハビリの時だけ病棟外に出ることが出来ます 		院内自由です (病棟外へ出られる時は声を掛け下さい)
栄養	夕食まで食事がとれます 夜24時までは水分は飲めます (病状により前日から、絶食で水分だけになることもあります) 	水や食事をとることはできません  絶飲食		水や食事をとることはできません			医師診察後、水分が開始になります 栄養指導の日程を調整します	流動食が開始になります (主治医確認後) 食事は無理をせず、ゆっくり食べましょう	
嚥下	口の動きや飲み込みに問題がないか評価します。術後の食事開始に向けた指導も行います								食事が安全に摂れているか確認していきます
清潔	お腹の除毛の後に入浴して下さい 	うがいはできます		口の中が乾燥した時は、口腔内を濡れたガーゼで湿らせることができます	手術後はタオルで身体を拭きます うがいが出ます 	うがいや歯磨きが出来ます	うがいや歯磨きが出来ます	シャワー浴をする事が出来ます(主治医確認後)	
排泄			麻酔がかかった後に尿の管が入ります		診察後尿の管を抜く予定でベッドサイドで排泄する事が出来ます 尿を溜めていただきます	手術前と同じように排泄する事が出来ます 尿を溜めていただきます	尿は溜めなくて結構です(10時から)		
教育 指導 説明	入院時オリエンテーションを行いません バスに沿って手術の流れを説明します 主治医・麻酔科医が手術や麻酔について説明します。手術室看護師が訪問します 歯科医が歯や歯茎の状態を診察します リハビリスタッフが術後の説明をします			ご家族に手術結果を説明します。 	ご本人に手術の結果の説明をします 			食事を食べる時の注意点について看護師より説明があります。ハンフレットをお渡しします	

胃の全摘出術を受けられる患者さまへ

氏名(@PATIENTNAME)

月日	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)~(/)	(/)	(/)
経過	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	11日目	12~13日目	14日目	15日目
達成目標	流動食を摂取できる 吐気なく過ごす事ができる ダンピング症状をおこさないように しましょう 自己分食できる	3分食を摂取できる 吐気なく過ごす事ができる ダンピング症状をおこさないように しましょう 自己分食できる	3分食を摂取できる 吐気なく過ごす事ができる ダンピング症状をおこさないように しましょう 自己分食できる 手術創が乾燥している	5分食を摂取できる 吐気なく過ごす事ができる ダンピング症状をおこさないように しましょう 自己分食できる 手術創が乾燥している	5分食を摂取できる 吐気なく過ごす事ができる ダンピング症状をおこさないように しましょう	全粥食を摂取できます ダンピング症状をおこさないように しましょう	米飯食を約3割摂取できる ダンピング症状をおこさないように しましょう (13日目) 退院後の注意点を理解できる	食事を約5割摂取することができる ダンピング症状をおこさないように しましょう 栄養指導を受け、退院後の食事について理解することができる	ダンピング症状について理解できる 自己分食できる 食事を5割以上摂取できる 手術創が乾燥している
治療									
処置	6時、10時、14時、18時に検温を行いません	6時、10時、14時、18時に検温を行いません	10時に検温を行います	10時に検温を行います	10時に検温を行います	10時に検温を行います	10時に検温を行います	10時に検温を行います	10時に検温を行います
薬剤	点滴があります	点滴があります	全抜糸をします						
検査									
リハビリ	体力をつけるため自転車漕いだりします	朝、採血をします 体力をつけるため自転車漕いだりします	体力をつけるため自転車漕いだりします	体力をつけるため自転車漕いだりします	朝、採血をします 体力をつけるため自転車漕いだりします	体力をつけるため自転車漕いだりします	体力をつけるため自転車漕いだりします	体力をつけるため自転車漕いだりします	体力をつけるため自転車漕いだりします
安静度	院内自由です (病棟外へ出られる時は声をお掛け下さい)								
栄養	流動食です	3分食になります 栄養指導を行いません (日程は相談します) 分食を行いましょ		5分食になります		全粥食になります 	13日目から米飯になります 	2回目の栄養指導を行います (日程は相談します)	
清潔	シャワー浴です	シャワー浴です	入浴できます 						
排泄									
教育		栄養士より食べる時の注意点や消化の良い食事などについて説明があります 					(13日目) 主治医、看護師より退院後の注意点について説明があります	栄養士より再度説明があります 退院後の食生活で心配な事がありましたら、ご相談下さい。	